



新潟市
フードテック×スタートアップ
の取り組みについて

新潟市経済部
成長産業・イノベーション推進課

背景

【食・農業分野における社会的課題】

- | 人口増大による食料不足や環境問題
 - ➡IT等先端テクノロジーを用いてその解決に取り組む**スタートアップ**が世界で注目
「**フードテック**(食×テクノロジー)」、「**アグリテック**(農×テクノロジー)」
 - ➡SDGsやESG投資の世界的な認知度の向上で更なる成長が見込まれる

【新潟市の状況】

- | 日本有数の穀倉地帯、野菜・果樹・花卉の一大産地、日本海に面した立地を活かした漁業
- | 豊富な農水産物資源を基盤とした食料品製造業が内需型産業として発展
 - ・市内製造業のうち、食料品製造業が事業所数・従業員数で最も多くの割合を占める
 - ・全国的にも著名な地元発の食品メーカーが多数存在
 - ・食品メーカーが地域内に上流から下流までサプライチェーンを構成、食関連産業が集積
- | 農業生産、加工・商品開発、販売を一体的に支援することで、農業と食品産業の成長産業化を目指す「新潟ニューフードバレー」に取り組んでいる。
- | 平成26年、「大規模農業の改革拠点」として、国家戦略特別区域に指定
 - 多くの企業からアグリプロジェクトの提案を呼び込み、ICTなどを活用した革新的農業の実践

なぜ、フードテック×スタートアップなのか

➤ **起業・創業を促進したい、新事業創出を加速したい**



➤ **「なぜ新潟なのか」が重要**



➤ **新潟が持つ資源と可能性**

- ・ フードテックをヒントに既存産業にイノベーションを
- ・ フードテックの視点から新事業の創出を
- ・ 新潟から世界に、世界から新潟に



フードテックとは…

食・農とテクノロジーの融合。あらゆるモノがネットにつながるIoTや人工知能(AI)をはじめとするデジタル技術と、バイオサイエンスなどの融合で起こるイノベーションの総称で、食・農に関するビジネスの課題解決に取り組む。

フードテック×スタートアップ事業

新潟市の強みであり、
市内企業への波及効果も高い、**食や農の分野**を軸に、
フードテック・アグリテックのスタートアップを本市に集積させ、
経済成長のエンジンとするため、新事業創出の**エコシステム**を
形成し、**本市の食関連既存産業のイノベーション促進**を図る。

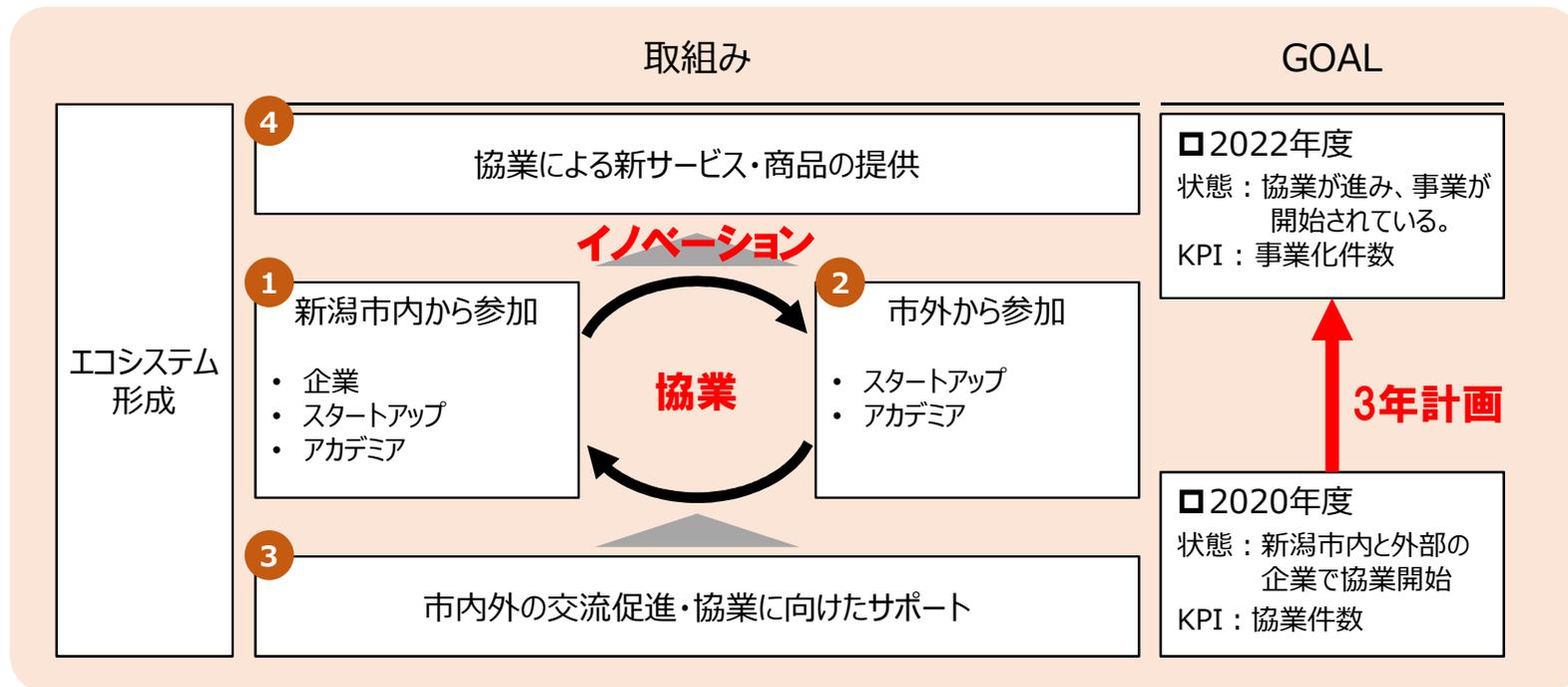


フードテックで目指す将来像

取組み **食・農をキーワードにした高付加価値事業の創出**

手法 **食関連産業×テクノロジー**

- 将来像
- ①フードテック、アグリテック領域のスタートアップが新潟に集まる、協業が生まれる
 - ②事業共創プラットフォームの構築（エコシステム）
 - ③スタートアップ・社内起業家を生み出す



フードテック×スタートアップ事業 考え方・STEP

意識醸成

- 新潟市においてフードテック・アグリテックを取組む意義や意識醸成を育む。
- 当事者意識を持ち、本事業でフードオープンイノベーションを推進する意識を持つ。

企業集積

- 県外スタートアップ企業の集積に繋げ、イノベーションを推進する。
- 本事業を魅力的なものにし、本市に来たくなる仕組み作りを目指す。

経済活性化

- スタートアップ企業の集積を経済成長のエンジンとする。
- 新潟市内経済の活性化、地方創生。

事業確立

- フードテック・アグリテックなら新潟市！を確立。
- 事業創出の好循環サイクルの確立。

フードテック×スタートアップ事業

★これまでの経緯（R2～R3年度）

フードテックの新事業創出エコシステム構築

｜ エコシステムに必要な役割・機能の設定

｜ 意識の醸成

- ・ フードテック関連セミナー開催

｜ パートナー選定と実施体制整備

- ・ 分科会(テーマ別勉強会)開催
- ・ スタートアップスクール開催

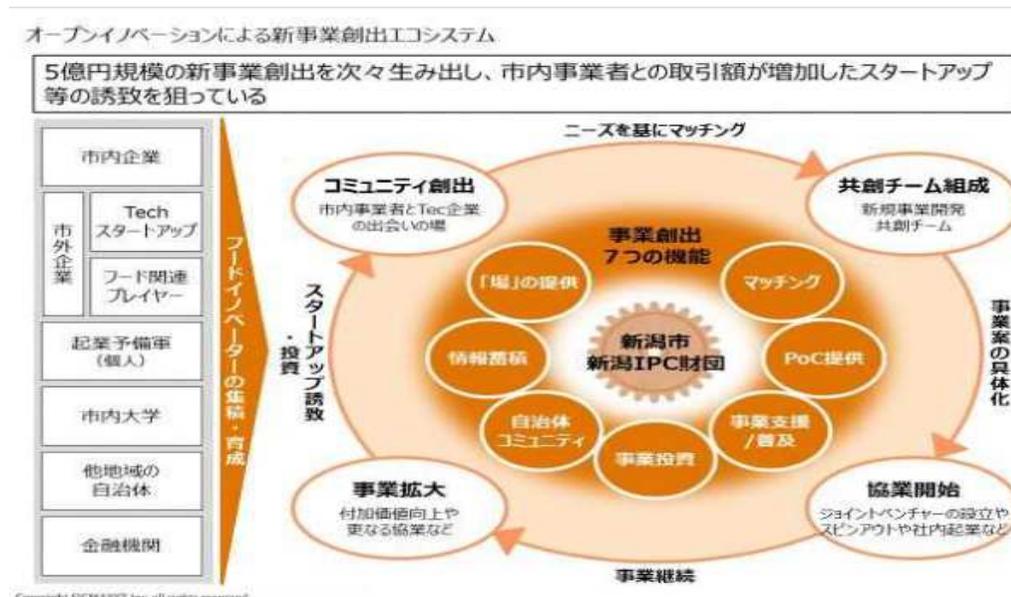
｜ 新事業・協業の創出

- ・ 事業相談

新事業創出のための課題分析・事業案のブラッシュアップ

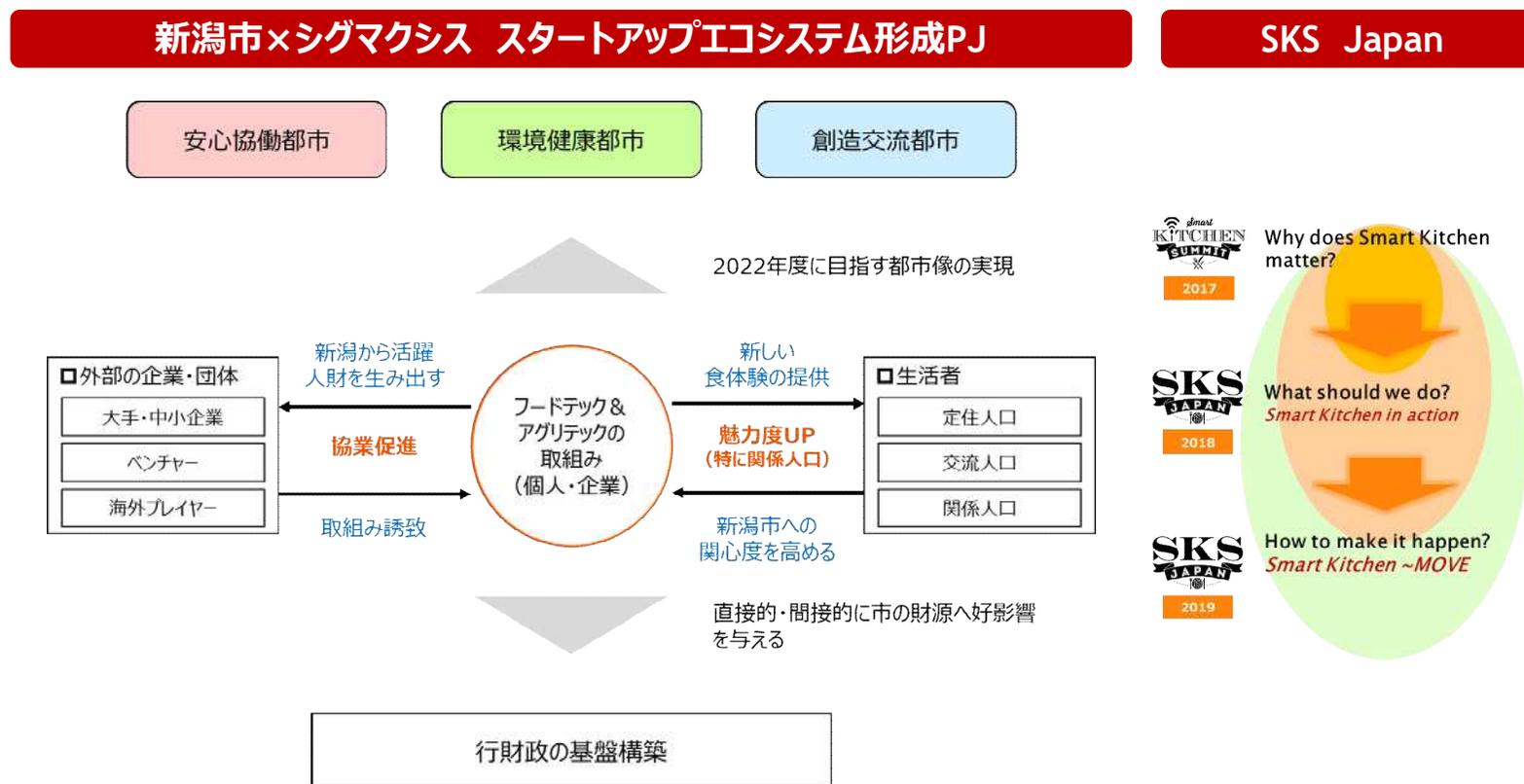
- ・ ミートアップ・マッチング支援

市内企業とスタートアップ企業等とのマッチングイベント開催 ➡7件の協業創出



スタートアップエコシステム形成PJ

- ・新潟市は株式会社シグマクスとの協業を通じて、スタートアップエコシステムを形成
- ・株式会社シグマクスはスマートキッチンサミット ジャパン(SKs Japan)を主催



出典：株式会社シグマクス資料

フードテックに係る取組（R2年度）

| オンラインイベントの実施

▶ 7/20 キックオフセミナー

- ・ フードテックのトレンドについて（シグマクシス 田中氏）
- ・ フードテックベンチャーによるプレゼン

登壇企業：ウェルナス、デイブレイク、ギフモ

▶ 9/ 8 ミートアップイベント

- ・ 食の価値観について（シグマクシス 増田氏）
- ・ 市内企業によるプレゼン

登壇企業：わたご酒店、善丸コーポレーション、インサイトラボ、アイセック

▶ 1/29 マッチングイベント

- ・ 市内企業のフードテック事業紹介
- ・ 個別マッチングの実施（3×3）

登壇企業：亀田製菓、一正蒲鉾、和僑商店HD

フードテックに係る取組（R2年度）

| オンラインイベントの実施

▶ 2/20～3/20 フードテック・スタートアップスクール

- ・ 第1回テーマ：キックオフ（フードテックトレンドのインプット）
講師：シグマクシス 田中氏、スクラムベンチャーズ 外村氏
- ・ 第2回テーマ：人材育成（組織・自立型リーダー、MTP）
講師：シグマクシス 杉山氏
- ・ 第3回テーマ：経営（FTベンチャー事例：事業アイデア創出）
講師：シグマクシス 増田氏
- ・ 第4回テーマ：販路開拓（FTベンチャー事例：ビジネスモデル）
講師：シグマクシス 増田氏
- ・ 第5回テーマ：財務（スタートアップの資金調達）
講師：新潟ベンチャーキャピタル 星野氏

フードテックに係る取組（R2年度）

| 企業への個別支援

- ・ 個別ミーティングの実施（27社36回）

| フードテックカンファレンス等への参画

▶ Smart Kitchen Summit 2020

- ・ 新潟市の食・農に関する取組を発表

▶ フードテック官民協議会

- ・ ヘルス・フードテックWTに参加

▶ Food Tech Studio -Bites!

- ・ リソースパートナーとして参画

| 市役所内での取組

- ・ 幹部向け講演会（市長ほか約50名）
- ・ 定期ミーティング（毎週実施）

フードテックに係る取組（R3年度）

｜ オンラインイベントの実施

- ・ 9月15日～17日：3夜連続オンラインセミナー「コネクテッドシェフ」、「フードサプライチェーン」、「プラントベースフード」をテーマに実施
- ・ テーマ自由設定型の分科会も実施

｜ 新事業創出支援

- ・ 協業組成・事業化のアクセラレーションプログラムを12月より実施し、協業案件を3件組成。
- ・ フードテックスタートアップスクールの開催

｜ その他の取組

- ・ 他コミュニティとの連携
- ・ エコシステム形成に向けた取組

フードテックに係る取組（R4年度）

令和4年度 フードテック・アグリテックを軸としたスタートアップ等支援事業

｜ 新事業創出エコシステムの具体化

- ・ エコシステムの中核を担うメンバー企業の選定・声掛け

｜ 新事業創出支援

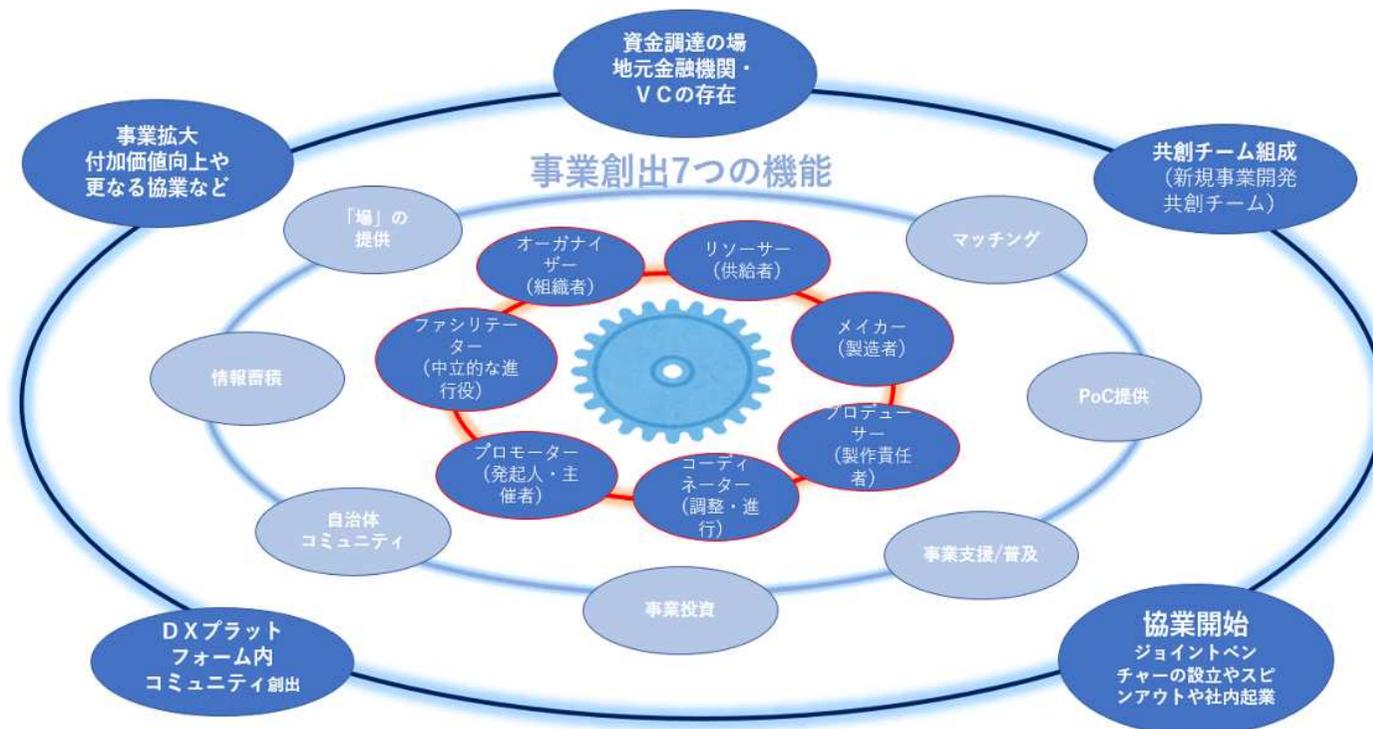
- ・ ミートアップ、マッチングイベントの実施
- ・ 市外に対する課題提供によるスタートアップ誘致
- ・ プロジェクト化による分科会の実施
- ・ 分科会による取り組みの支援（アクセラレーションプログラム）

フードテックに係る取組（R4年度）

令和4年度 フードテック・アグリテックを軸としたスタートアップ等支援事業

新事業創出エコシステムの具体化(実装・稼働)

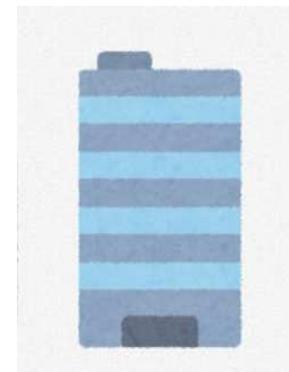
- ・ これまでに検討してきたエコシステム像に基づき必要な役割（機能）を設定し、パートナーを選定し実施体制を整える。
- ・ 設定したエコシステムを具体化するため実装・稼働を行う。
実施内容：稼働想定、スキームの確立、スケジュール管理、計画立案など



フードテックに係る取組（R4年度）

令和4年度 フードテック・アグリテックを軸としたスタートアップ等支援事業

市内食関連企業とスタートアップ企業による
オープンイノベーションの循環による
スタートアップ企業の集積と
食のイノベーションを地域経済の活力に



→フードテック
新事業の創出
→スタートアップ
企業の誘致

【対象】

- 市内食関連企業
- スタートアップ企業



イベントの企画・ 運営

- ミートアップ・マッチング
イベント開催
- テストマーケティング企画
※市外へ向けた課題提供

分科会の企画・ 運営

- 事業化に向けた調査、
研究等の取り組み支援
(資金調達支援含む)

アクセラレー ションプログラ ムの企画・運営

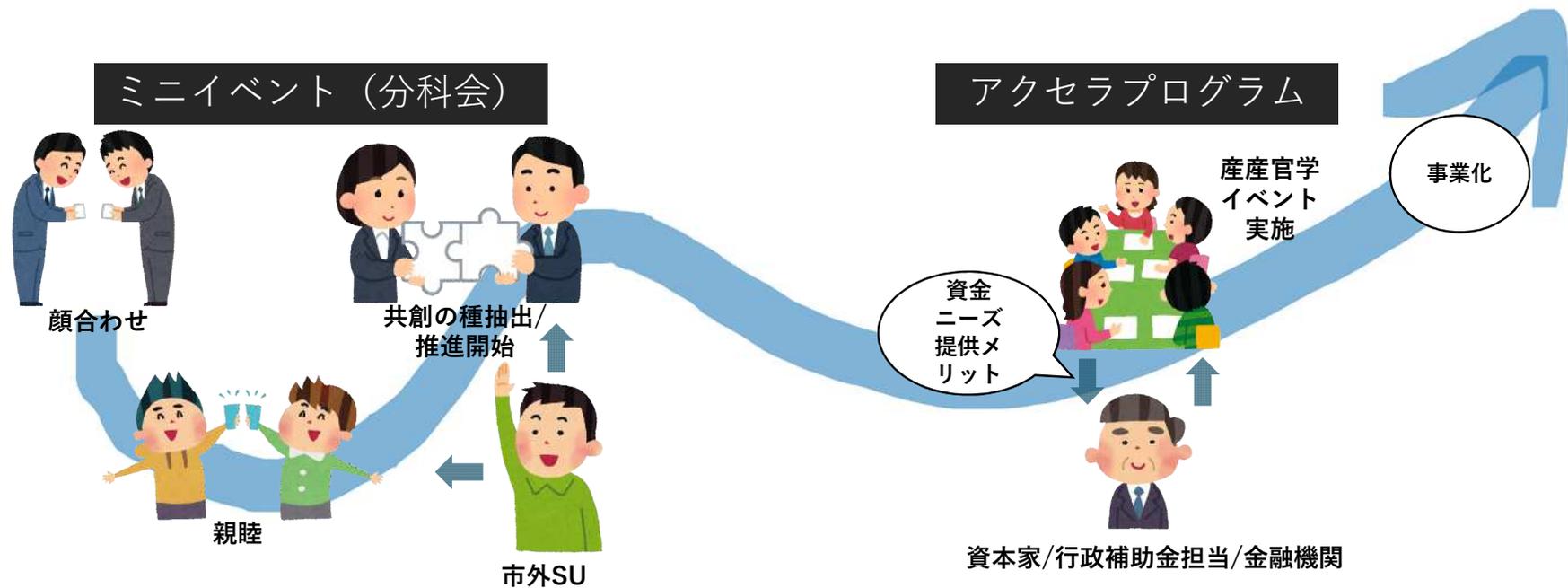
- 分科会参加者に対する
集中的コンサルティング

活動情報の発信・蓄積

DXプラットフォームとの連携
新潟IPC財団との連携（過去協業案件7件へフォロー含む）

イベント・アクセラプログラム

投資家をマッチングするのでは事業化され、推進され続ける「実証」は生まれない。特に、新潟のOI系事業の種・レベルはまだ全国的に見ても育っていないといえず、場に合わせた仕組みが必要である。そのため、初期のミニイベントについてはコミュニティ構築とニーズ/シーズ抽出に注力する。その後、それらのニーズ/シーズにあわせた、地場エンゼル投資家や補助金など地場の目線にあったお金の流れを構築する必要がある。(⇔それらのレベル設定がずれるとVCに話させるだけのプログラムになる。)



2052年からの招待状



未来の「食」のために
ここから
食からはじめよう

Food open-innovation in Niigata

Vol.1

2022年8月31日 13:30~

@新潟県イノベーション施設NINNO
(新潟県新潟市中央区笹口) プラウカ2 2F)

主催



新潟市
Niigata City

共催



経済産業省
関東経済産業局

協力



NINNO

本イベントについて

新潟市の強みであり市内企業への波及効果の高い食分野を中心に「フードテック（食×テクノロジー）」をキーワードに創業や新事業展開を支援する取り組みを令和2年度より行ってきました。今年度はこれまでの取り組みを活かしつつ、フードオープンイノベーションの考え方を取り入れたプロジェクトとしてFood open-innovation in Niigataの活動を展開していきます。

本イベントはそのオープニングイベントです。「未来の食」を囲みながら*、食の未来のことを様々な立場の目線で考えます。講演では、生活スタイルの変化や食料供給問題、食に関する技術動向などの課題提供を行います。その講演内容を踏まえ参加企業が何に取組めるのか？イノベーションの種はどこにあるのか？を想像し、様々なスタートアップ企業との交流、共創からイノベーションの加速につなげていきます。

※感染症拡大防止のため食事の提供は実施しません。未来をテーマにした「食」のお土産をご提供します。

※参加対象者 市内食関連企業、県内外技術企業・研究機関など

What's Fooin(フーイン)?

「食」はすべてに繋がっている。

食を育む自然、生命・体をつくる食、土地の四季や気候を反映した食、食の体験…食を通して広がった環は、「食文化」として収斂されていく。

「食べる」は原始的な行為であり、文化的な行為です。エッセンシャル産業であり、エンタメや観光のような非エッセンシャル産業の側面を持つ特殊な領域です。必要不可欠であり、人の心の機微に訴える領域。

だからこそ、豊かでなくてはならない。イノベーションがおき続けることで、食を通じた環と環が循環を続けられる状態でなくてはならない。

さあ、繋ごう。未来に。食にイノベーションを。食の実験をする。挑戦をする。それがFood open-innovation in Niigata新潟から始まります。



Time Schedule

PART1 13:30～

13:30-13:35 あいさつ
新潟市長 中原八一

13:35-13:45 説明
Fooinについて

13:45-14:30 講演
「食の未来を見据えたフードビジネスの新展開」
木附 誠一 氏
(株式会社三菱総合研究所首席研究員)
「農林水産省におけるフードテックへの取組」
平野 由夏 氏
(農林水産省大臣官房新事業・食品産業部 企画グループ)

PART2 14:45～

自己紹介（自社の取組紹介やオープンイノベーションニーズ発表など）/懇談/食のご紹介を交互に進行し交流をいただく時間です。

☑未来の「食」のご紹介
未来をテーマにした食のお土産をご提供します。

☑Fooinピッチ/自己紹介
自己紹介/自社紹介と食の未来のテーマで関心のあること

☑懇談/交流

16:20-16:30 終わりに
石原 優 氏
(経済産業省関東経済産業局地域経済部次世代産業課長)

お申込はコチラ

人数：30名程度
申込日：8月26日（金）



Fooin運営事務局（株式会社イードア内）

申込：URL
<https://forms.gle/2kVT3cbpiQNKz2sQ7>

担当：佐藤 m.sato@edoa.co.jp

※事業主催：新潟市 経済部 成長産業・イノベーション推進課



フードテック×スタートアップ事業

この事業のKPI

| KPI

- フードテック・アグリテック企業と市内企業・農家との事業提携件数
- アクセラレーションプログラムに参加し、新たに資金調達できた件数
- イベント・セミナー参加者数

| 達成目標

- ① エコシステム像の構築
- ② KPIの内企業・農家との事業提携件数達成
- ③ イベントセミナー参加人数達成